お田植え感謝祭 みんなで灯そう

千枚田だより



素晴らしい十枚田跳ねてる蛙轢きそうに

みやこ

も夜空を焦がす篝火を背に勇壮な また、こども陣太鼓(鳳来中学部活)

「合戦長篠太鼓」を披露。観る人に

浦川哲

感動を与えた。

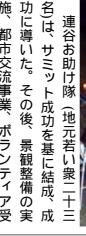
十六夜の月を集める千枚田

第 58 号

新米で早く食べたい五平餅

なで灯そう千枚田」を六月七日(土) まった第三回お田植え感謝祭「みん に開催 連谷お助け隊は恒例になってし

推進発表を行った。 ウソクと篝火(ふるさと指導員活動 昇る」をイメージした千五百本のロ 成、学校田に灯すとともに、エコの 童(九人)は廃油ロウソク二百本を作 たちに幽玄な世界と感動を与えた。 初め、都市近郊から訪れた大勢の方 支援)が早苗の田んぼに映え、地元を 千枚田の景観道を「龍が天空まで この催しに地元連谷小学校の児



活性化を主眼に活動している。 け入れ等にも積極的に参加。地域の 施、都市交流事業、ボランティア受 に吉本興業観劇を企画。 七月五日には地域の「絆」を目的

くり」を目指します。 除伐作業を行うなど、「明るい村づ ーをリース、連合地内根道の枝打ち、 金の助成で高所作業車やチエンソ また、七月十三日にはモリコロ基

田植え体験

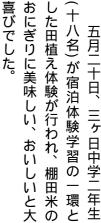
舎料理を満喫しました。 食は棚田のおっ母さんの手作り田 ム(シリーズ)の田植えが行われ、昼 五月十七日、三河の山里ツーリズ



遊び「水鉄砲」や「竹馬」、「竹トン 男さんの手ほどきで案山子や昔の クラブが招待した養護施設「慈友学 園」の子供達の田植えが行われまし 五月十八日、 午後は小山広一さんと原田二三 名古屋北ロー タリー



ボ」をつくり楽しく遊びました。



三時三十分千枚田直売所付近



の田植えが行われました。 五月二十三日、連谷小学校(九名)



田ごとの月

平成二十年五月二十一日、午前

田の中に溢れるばかり十六夜の月 が、感動した一日でした。 卓袱に包まれ、いつまでも鑑賞して 天にひとつ地には棚田に十六夜の月 には行かずに、その場を去りました いたい気持ちでしたが、そんなわけ 遠く見える山並みは墨絵のごとく 見事に浮かび上がり、周囲の木々や に照らし出された千枚田は、それは ただきたい風景でした。月の明かり く、それは綺麗なお月様を拝見する ました。この日は十六夜で天候もよ なく、多くの来訪者にも是非みてい 素晴らしい景色をみることが勿体 ことができました。私一人がこんな 早朝の新聞配達で、三文の徳をし 海老 浦川哲

保存会総会

されました。 提出された議事、議案はすべて可決 山麓千枚田保存会の総会が開かれ、 五月二十四日、平成二十年度鞍掛

葵フォトクラブ

を訪れ、撮影会が行われました。 ラブ(四十九名)が雨上がりの千枚田 五月二十五日、静岡県葵フォトク

ブロック過疎対策担当課長等会議 五月二十七日、東海・近畿・北陸

> ット)に基づき、千枚田を核にした が千枚田で行われ、小山舜二(ふるさ 民との交流事業の視察 (二十三名)」 をしました。 と指導員)が作成した資料(パンフレ 「民間団体との協業による都市住 「むらづくり成功事例」などの対応

ンバーで行いました。 備(草刈等)を保存会とお助け隊のメ 千枚田入口・ふれあい広場の景観整 る「みんなで灯そう千枚田」に備え、 五月三十一日、 お助け隊が実施す

んぼで行われます。 えが六月二十二日(日)、 みんなの奥三河(シリーズ)の田植 田吾作の田

げなげな噺

また、見れりゃあ いいがん・・・?? 弥陀仏・南無阿弥陀仏・・・そうだのん、 のぉ (ロウソク)見せてむらって、ふ うに、生きとるうちにあんないいも わしゃあ、九十すぎにもなるっちゅ れたじゃんかん。・・・ふんとだのん、 お助け隊はどえらい事お やってく んとに有り難かっただぞん。 南無阿 ほい、そぉ いっちゃあ なんだが

発 行 文 責 小山舜二鞍掛山麓千枚田保存会 平成二十年六月十五日